令和５年
第77回 国民体育大会
燃ゆる感動　かごしま国体2023

秋田県選手団 競技結果



［写真提供：秋田魁新報社］

祝　５連覇






左から　モッチ・ラミン選手、小室望海選手、柳澤洸太選手、根岸城二選手［写真：秋田県スポーツ協会］



フェンシング　総合優勝　チーム秋田



フェンシング
成年男子　フルーレ　２位
成年女子　フルーレ　２位
チーム秋田



フェンシング
少年男子　フルーレ　４位
少年女子　フルーレ　７位
チーム秋田

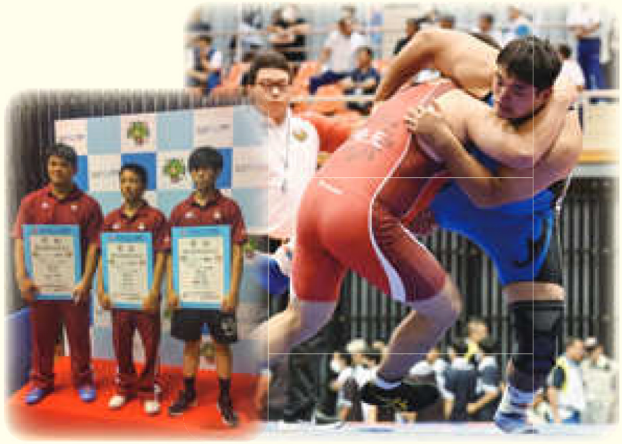


水泳(競泳)　少年男子Ａ　背泳ぎ200m
２位　白鳥航生（能代松陽高校）



陸上競技　成年女子　ハンマー投
２位　小舘充華
（染めQテクノロジィ）

↓織山昭成　右



レスリング　少年男子　フリースタイル
125kg級　２位　織山昭成（秋田商業高校）左
55kg級　３位　山鹿辰士（秋田商業高校）中央
60kg級　５位　菊地寛人（秋田商業高校）右



水泳(競泳)　少年男子Ａ　個人メドレー400m
４位　鈴木大斗（秋田南高校）



ライフル射撃
少年男子　エア・ライフル立射60発　５位　榎春音（秋田令和高校）後列一番右
少年女子　ビーム・ピストル60発　５位　三浦寿花（秋田高校）前列左から２番目



ウエイトリフティング　少年男子
＋102級スナッチ　５位
＋102級クリーン＆ジャーク　６位
小玉颯太（金足農業高校）



馬術　少年
馬場馬術　７位
自由演技馬場馬術　８位
藤原駿(大曲西中学校)とユリシス

[写真提供：秋田魁新報社・競技団体関係者]

特別国民体育大会（鹿児島国体2023）　入賞者一覧

No.	順位	競　技　名	種　別	種　　目	氏　名	所　　属	点数
1	1位	バスケットボール	成年男子		チーム秋田（ＪＲ東日本秋田）		40
2		レスリング	少年男子	フリースタイル125kg級	織山　昭成	秋田商業高校	7
3		水泳（競泳）	少年男子Ａ	背泳ぎ200m	白鳥　航生	能代松陽高校	7
4	2位	フェンシング	成年男子	フルーレ	チーム秋田		21
5		フェンシング	成年女子	フルーレ	チーム秋田		21
6		陸上競技	成年女子	ハンマー投	小舘　充華	㈱染めQテクノロジィ	7
7	3位	レスリング	少年男子	フリースタイル55kg級	山鹿　辰士	秋田商業高校	5.5
8	4位	水泳（競泳）	少年男子Ａ	個人メドレー400m	鈴木　大斗	秋田南高校	5
9		フェンシング	少年男子	フルーレ	チーム秋田		15
10	5位	レスリング	成年男子	フリースタイル86kg級	阿部　侑太	秋田刑務所	2.5
11		レスリング	成年男子	フリースタイル97kg級	門間　順輝	秋田市消防本部	2.5
12		レスリング	成年男子	フリースタイル125kg級	安田　拓斗	秋田県スポーツ協会	2.5
13		レスリング	少年男子	フリースタイル60kg級	菊地　寛人	秋田商業高校	2.5
14		レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル71kg級	村井　洋輝	秋田商業高校	2.5
15		ライフル射撃	少年男子	エア・ライフル立射60発	榎　　春音	秋田令和高校	4
16		ライフル射撃	少年女子	ビーム・ピストル60発	三浦　寿花	秋田高校	4
17		陸上競技	少年女子Ａ	300m	三浦　夏恋	秋田令和高校	4
18		相撲	成年男子		チーム秋田		7.5
19		バドミントン	成年女子		チーム秋田（㈱北都銀行）		7.5
20		ウエイトリフティング	少年男子	＋102kg級スナッチ	小玉　颯太	金足農業高校	4
21	6位	フェンシング	成年女子	エペ	チーム秋田		9
22		陸上競技	少年男子Ａ	やり投	岡部　倖也	秋田南高校	3
23		ウエイトリフティング	少年男子	＋102kg級クリーン＆ジャーク	小玉　颯太	金足農業高校	3
24	7位	水泳（競泳）	成年女子	平泳ぎ100m	赤間　明希	東海大学	2
25		水泳（競泳）	少年女子Ａ	自由形50m	髙橋　　凛	秋田北高校	2
26		フェンシング	少年女子	フルーレ	チーム秋田		6
27		ラグビーフットボール	成年男子		チーム秋田（秋田ノーザンブレッツ）		7.5
28		馬術	少年	馬場馬術	藤原　　駿	大仙市立大曲西中学校	2
29		カヌーWW	成年男子	カヤックシングル　スプリント	佐々木　翼	㈲鶴の湯温泉	2
30		陸上競技	成年女子	走高跳	濱田　風香	Team Astar	2
31	8位	ローイング	少年女子	舵手つきクォドルプル	チーム秋田（本荘高校）		5
32		ウエイトリフティング	成年男子	96kg級スナッチ	伊藤　　健	能代高校(教)	1
33		自転車	少年男子	１㎞タイムトライアル	池田　充槻	六郷高校	1
34		馬術	少年	自由演技馬場馬術	藤原　　駿	大仙市立大曲西中学校	1

特別国民体育大会秋田県選手団報告会

令和５年11月27日(月)　パーティーギャラリー　イヤタカ

「特別国民体育大会秋田県選手団報告会」を開催しました。本県強化策検討部会アドバイザー髙橋義雄様（筑波大学大学院准教授）と阿久根謙司様（東京ガスケミカル株式会社取締役常務執行役員）にもご出席いただき、参加した各競技団体役員及び強化担当者等約70名が今国体の振り返りと次の国スポに向けて競技団体の垣根を越えて課題を共有し、課題解決への意見交換などを行いました。



（鶴田有司　秋田県スポーツ協会会長）

報告会で本会会長鶴田有司からは、まだ２類感染症に分類された中での冬季国体、季節外れのインフルエンザ等の流行があった本国体に向けて選手の健康管理を万全にし、国体に臨まれた各競技団体への感謝と「第２期 チームＡＫＩＴＡ1,000点プラン」のもと、今後も県をはじめ関係機関と一体となって本県スポーツの振興・競技力向上への決意の言葉がありました。

また、来賓として秋田県議会議長北林丈正様より、厳しい結果を受けて、競技人口の減少という課題への取組、鹿児島という遠隔地での練習場の確保・体調管理等の労いと次の佐賀に向けての励ましの言葉をいただきました。また、秋田県観光文化スポーツ部スポーツ振興課課長米田裕之様より、本県競技力向上の鍵は少年種別の強化・育成であり、国体の課題と成果を洗い出し、明日から一歩一歩、強化を進めてほしいとの言葉をいただきました。続いて、本会競技力向上対策課課長佐藤から、結果概要について報告がありました。「天皇杯・皇后杯順位ともに、41位という厳しい結果であったが、バスケットボール競技成年男子の５連覇やフェンシング競技の17年ぶり８度目の競技別総合優勝、少年種別でも多くの活躍が見られ、今後の活躍が期待される競技も多くあった。『チームＡＫＩＴＡ強化・育成システム』『チームＡＫＩＴＡスタートアップ支援』を活用した指導者養成やカテゴリーを跨いだ事業等により、県全体での強化への一体感が感じられた。また、国スポ出場競技数の拡大も必要である」など成果と課題を挙げました。



（北林丈正　秋田県議会議長）

最後に総監督田口將本会副会長より、「今国体は、３年前の鹿児島国体に出場できなかった方々の思いも背負った国体であった。国体天皇杯が41位という厳しい結果を受け止めなければならない。競技団体同士が手を取り合い、新たな一歩を踏み出し、次の国民スポーツ大会での秋田県選手団のさらなる活躍を期待する」と総括がありました。「チームＡＫＩＴＡ国スポ戦略ミーティング」では、県全体を視野に入れた強化について各競技団体から挙げられた課題等を「競技選手の発掘･普及」「若手指導者･女性指導者の養成」「カテゴリー間の強化･連携」「組織体制の整備」の４つにまとめ、グループワークを行いました。ミーティングのまとめとして、阿久根謙司様からは「ＰＤＣＡのサイクルを止めないことが重要であり、競技の枠を越えた成功事例の紹介など横展開も必要である」、髙橋義雄様からは「少子高齢化の中で、スポーツだけではなく、地域企業等も含め社会との繋がりもスポーツにとって必要になる」とアドバイスをいただきました。最後に中学校体育連盟の三浦純也会長より、「令和６年度地域クラブ活動の中体連主催大会参加について」情報提供していただき、会を閉じました。



（チームAKITA国スポ戦略ミーティング）